

今月の
症例

ホームページ掲載版では、症例提示を非公開としています。



Osaka Medical College
Cardiology

●大阪医科大学附属病院 循環器内科ではお困りの症例の電話による
相談窓口を開設させていただいております。

当院のスタッフ(循環器専門医)が、緊急症例の受け入れに限らず、外来受診の予約など幅広く対応させていただきますのでご利用ください。

24時間対応させていただきます

近況報告



多職種の参加する心不全カンファレンス行っています



一昨年前より、医師、看護師、理学療法士、薬剤師、栄養士が参加して、毎週火曜日に心不全カンファレンスを行っています。多職種がそれぞれの視点から、心不全で入院中の患者さまの治療内容に工夫の余地がないか、意見交換を行っています。心不全発症のリスク管理を行い、患者さまの再入院の予防や、さらには心機能の改善に寄与できればと考えております。繰り返す心不全でお困りの患者さまがいらっしゃいましたらご紹介ください。

TOPICS

深部静脈血栓症に対する新規経口抗凝固薬

	リバロキサバン (イグザレルト)	アピキサバン (エリキュース)	エドキサバン (リクシアナ)
通常投与量	10mg/日、又は 15mg/日*	5mg/日、又は 10mg/日*	30mg/日、又は 60mg/日*
初期投与量	21日間倍量投与	7日間倍量投与	増量無し

* 年齢、体重、腎機能により投与量の調節が必要です。

現在、使用可能な新規経口抗凝固薬のうち、ダビガトラン(プラザキサ)を除く3種類の薬剤に深部静脈血栓症の効能が追加されました。非弁膜症性心房細動との投与方法の違いは、2種類の薬剤でローディングを行うことにあります。左の図表をご参照ください。なお、腎機能低下症例につきましては投与量の減量、または投与が不可となりますことにご注意ください。



後記

the editor's notes

例年に無い暖冬で2016年がスタートしました。さて、循環器内科ホットラインを御利用いただいた件数が1月中旬に累計200件を越えました。いつもご紹介いただきまして本当にありがとうございます。今年も地域の患者さま、先生方にお役に立てるように努力を続けて参りますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

